

11.5 つどう2地縁アンケート抄—Q. 私の地縁集団—

Facebook&Twitter (現X) 「とある民俗学講師 (の補足メモ)」

- * 環境維持：火の用心、防災訓練、道路用水等の清掃、寺社の管理、廃品回収、回覧板、募金…
- * 子供関係：通学路パトロール、集団登校、ラジオ体操、運動会等、子供会…
- * お祭り（とんど、夏祭り、盆踊り、地藏盆、秋祭り、スポーツ大会…）と冠婚葬祭（葬式、結婚披露…）
- * 新しい地縁組織：新興住宅地、社宅、マンション、グループハウス…旧住民と新住民の二重構造化
- * 限界集落、限界コミュニティ／交流人口、コンパクトシティ

【地縁組織】私の実家がある福井市市波町は約120軒あり、13班に分けられている。班は家の並び順に決められており、ずっと変わっていない。各班には班長が1人。これは当番制で毎年交代し、年に3回ほど班長会がある。班長の役割は、毎月の市の配布物（広報等）の各家への配布、町内会費や寄付金の回収、地区の祭りの準備など。また、市波町自治会には、自治会長（投票で決める）、副会長（次の会長）、顧問（前年の会長）の3人の役員がいる。1月には初寄り合い、12月には終寄り合いがあり、これには地区の住民が1軒につき1人参加する。初寄り合いで決めた1年の予定をもとに自治会長が予定表を作り、それを班ごとに回覧板で回す。

【回覧板】私は大学進学するまで、和歌山県有田市野に住んでいた。そこでは野地区専用の回覧板をまわすという活動がされている。これを通じて近所の人と世間話をする機会が増え、いざと言う時に近所の人に頼ることができるようになる。

【清掃】私の地元・大阪府岸和田市八幡町では、町単位で様々な活動がある。最近始まったと母親から聞いたのが、月1での町内清掃。ある人から「掃除を各番地3人ずつ参加して行えば、高齢化している八幡町の老人たちの良いコミュニケーションの機会になる」という提案があったそうだ。同じ町に住んでいる祖母は、祖父が数年前に亡くなって一人暮らししているので、私含めて家族が心配していたが、この活動に参加して元気を取り戻していると聞いた。

【ゴミ回収】地元・兵庫県川西市鶯台には自治会があり、全世帯の約8割、約450世帯が加入。会長は立候補（選挙）、副会長は自薦（やりたい人）、それ以下の役員は輪番制 [中略]。子ども会と老人会は仲が悪く、活動資金の為に行う廃品回収では、お互いに廃品を取り合っていた。同じ校区の他の自治会は収集曜日を分けるなどしていたのだが、鶯台だけはずっと同じ曜日に睨み合いが続いていた。しかし3年ほど前、子ども会側が廃品回収の車から、子どもの声で「子ども会にご協力お願いします！」という録音音声をし始めたところ、「子ども会側に収集してほしい」という貼りが付いた廃品が圧倒的に増え、老人会は手を引いたそうだ。

【水利】実家がある愛媛県松山市には町内会がある。父から聞いたところ、毎月の回覧板や防災訓練の他、年2回の草刈りや盆踊り、田植えの前の水路掃除などの活動をしているそうである。今ではもうしていないが、昔はため池の管理をしていたそうである（ため池をコンクリートで埋めたか整備したというのを人づてに聞いた）。

【消防】私の住む兵庫県神崎郡市川町では、小規模だけれど村に住む男の人達が消防士として活動しています。火事が起これば防災ラジオから大音量のアラームが響きわたり「消防隊員の方は至急現場に急行してください」と2回繰り返して流れます。他にも消防救助技術大会や消防操法大会も参加しています。

【葬儀】私の地元・福岡県荏田町では、父が子供の頃までは自宅で葬儀を行う際に隣組で協力して、ご飯の炊き出しを行ったり、受付を担当したりしていた。しかし、今ではおくやみの情報を区に伝えたりする程度だ。

【結婚祝い】私の実家がある愛知県豊橋市東七根町は、約50世帯、住民の八割が農業従事者である小さな村だ。だいたいK姓かA姓かM姓なので、皆、下の名前呼び合っている。各世帯は地区ごとに8つの組に分けられており、それぞれの

組の中で組長などの役職が決められる。[中略] ある家にお嫁さんが来ると、小学生の子供たちにお菓子を配るという慣習がある。このお菓子は「かや」と呼ばれており、小学生がその家を訪ねて「かやください」と言うと、お嫁さんとお母さんがニコニコしながらお菓子を渡してくれる。どここの家でかやを配っているという情報は、母が子供の頃は学校で公開されていたが、現在はママLINEで流されているらしい。時代は進んだものだ。

[節分] 私の住んでいる京都市左京区吉田（第四錦林小学校区）では、特に小学生を中心に、地藏盆や区民運動会といった地域行事への参加が盛んに行われ、吉田神社の節分祭も地域の人々の協力（資金援助、人員の確保など）によって開催されている。節分祭では鬼や方相氏役を児童の父親から選出しており、事前学習として神社関係者が講演に来てくれることもあったため、行事以外にも、毎朝集団登校する児童を交通事故から守る「見守る隊」という組織を編成して、町の人々が地域の安全を守っている。町で子供たちを育てるという意識が根強いようだ。

[だんじり] 私の住む大阪市城東区鳴野東では、毎年夏になるとだんじり祭りが開催されます。しかし正直、私はだんじりによく悩まされます。受験勉強中に家の前を大声で叫びながらだんじり軍団（ほぼヤンキー）が通り過ぎたり、車で習い事に行きたいのにだんじりによって道が封鎖されており通れなかったり、また、早朝には家のすぐ近くにある神社にすべてのだんじりが音を鳴らしながら集まってくるため、目を覚ましてしまったりします。夏の間はだんじりに気が滅入りそうになりますが、これも日本の伝統の一環だと思いグッとこらえることにしています。

[地藏盆] 私の住む滋賀県長浜市八幡東町には「町内会」があり、さらに町内毎に集団が細かく分けられている。いろいろな活動があるが、小六になると地藏盆の運営係をすることになっていた。おやつのスイカを切ったり、お菓子のゴミを捨てたりするなどの簡単な作業。肝試しでは、近くのドンキでおもちゃを買ったり、スーパーでこんにやくを買ったりした。肝試しの驚かし係をしたら、子供たちは全く怖がってくれなかったが、楽しそうに笑ってくれたので、頑張ってたかなと思った。終わった後に六年生だけ集められ、保護者からアイスを頂けたのがとても嬉しかった。

[寺社関係] 祖父母の住む埼玉県児玉郡上里町神保原には、全国の石神の総社とされる石神社がある。住民有志によって神社委員が組織されており、神社の管理や祭祀に携わる。私の祖父も神社委員をつとめていたらしく、山車や社屋の修繕の際に出資したり、地元住民に出資を呼びかけ、数千万円単位で資金を集めたという。

[新興住宅地] 私の実家がある和歌山市加太のサニータウンという地域の自治会は、120世帯くらいの規模で、13班に分割されている。活動内容は、班長会議、回覧板、ごみ当番、消火器確認、2～3か月に1回の住宅周辺の掃除・草刈りなど。私が幼いころは今より活動が盛んで、年に一度のサニータウン祭をはじめ、自治会館でのクリスマスパーティーやカレーパーティー、鍋、ケーキ作り、ハロウィンなどたくさんの行事があつてとても楽しかった。サニータウンのおじさんたちによる有志バンド「ザッキーズ」は今も活動しているのだろうか…。

[新旧住民] 実家のある京都市松ヶ崎は、町の単位で古くからある用水路の掃除や開閉を行っている。だが、この町というのは、古くから松ヶ崎に住む人々でほとんどが構成され、新興地主層は活動にノータッチである。

[マンション] 私の父は兵庫県伊丹市の社宅と大阪府豊中市のマンションで自治会役員を経験した。伊丹は古い街で、年配の一戸建てと若い夫婦・子持ち世帯が多かったので、会長さん曰く、ゴミにはじまりゴミに終わる、といった感じで、ごみ収集場所やルールの徹底などが最重要だったそうだ。豊中市のマンションではゴミをいつでも出せる設備があるため、自治会は住んでいるオーナーと、賃貸している住民の集まりで、親睦を深めることがメインの活動だったらしい。

[!] 私の住んでいる大津市では、町内会が、回覧板の実施、夏祭りなど、様々な活動をしている。しかし、私の親は町内会といざこざを起こしたらしく、今では町内会を抜けている。そのため、私が小学校の頃は祭りなどにも参加していたが、現在小学生の妹は参加できていない。地域のつながりを煩わしく思う親の気持ちもわかるが、妹が少しかわいそうだ。